

■ 消化器内科研修プログラム

1) 一般目標

日常診療で頻繁に遭遇する消化器疾患に適切に対応できるよう、入院患者の受け持ちと外来診療によって基本的な臨床能力を身に付ける。

2) 行動目標

A. 独力で実施できる

1. 問診、身体所見、検査所見、画像検査所見から消化管、肝胆膵疾患を発見できる
2. 腹痛の鑑別診断と初期対応
3. 嘔吐の鑑別診断と初期対応
4. 下痢の鑑別診断と初期対応
5. 吐下血の鑑別診断と初期対応
6. 黄疸の鑑別診断と初期対応
7. 中心静脈カテーテル留置と管理
8. 経鼻胃管留置と管理
9. 腹腔穿刺
10. 腹部エコーで胆石胆嚢炎、水腎症、閉塞性黄疸、腹水が診断できる

B. 上級医とともに実施できる、または、内容を理解し、介助できる

1. イレウスチューブ留置と管理
2. PEG造設と管理
3. 上下部内視鏡検査
4. 消化管造影検査
5. 消化管止血術
6. 内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)
7. 超音波内視鏡検査・処置 (EUS、EUS-FNA)
8. 胆膵内視鏡検査・処置 (ERCP、EST、EPLBD、ERBDなど)
9. 消化管ステント留置術
10. 経皮的胆道ドレナージ (PTCD、PTGBD)
11. 食道静脈瘤内視鏡治療 (EVL、EIS)
12. 経皮的ラジオ波焼灼術 (RFA)
13. 経皮的肝動脈塞栓術 (TACE)
14. 消化器がんに対する化学療法、放射線療法
15. がん患者の終末期医療 (苦痛緩和、全身管理)
16. 患者・家族への適切な説明と心理的サポート

3) 研修方法

1. 入院患者を数名担当し、指導医・上級医とともに診療にあたる。
2. 指導医・上級医の指導のもとに外来患者の診療に参加する。
3. カンファレンスで受け持ち症例を提示する。
4. 病棟看護スタッフに担当患者の診断及び治療方針を随時説明する。
5. 担当した患者に関する文献をインターネットで検索し、科学的に吟味してカンファレンスで紹介し討論する。
6. 内視鏡センターで、上部・下部・胆道系内視鏡検査に参加する。
7. 生理検査室で、腹部エコーを行う。

4) 評価

1. EPOC2で評価する。

消化器内科 週間予定表

		月	火	水	木	金
午前		病棟回診 腹部エコー 内視鏡検査	病棟回診 腹部エコー 内視鏡検査	病棟回診 腹部エコー 内視鏡検査	病棟回診 腹部エコー 内視鏡検査	病棟回診 腹部エコー 内視鏡検査
午後		下部内視鏡検査 超音波内視鏡 胆膵内視鏡	消化管ESD RFA 胆膵内視鏡	消化管ESD 超音波内視鏡 胆膵内視鏡	下部内視鏡検査 超音波内視鏡 胆膵内視鏡	下部内視鏡検査 胆膵内視鏡
		病棟回診 消化器外科との 合同カンファレンス	病棟回診 消化器内科カン ファレンス	病棟回診	病棟回診	病棟回診